

募集要項

- 開催期間：令和7年度8月～1月(全5回)
- 開催形式：座学(オンライン含む)+現地視察
- 募集人数：25名
- 申込締切：令和7年8月9日(金)

※事務局準備の都合で8月9日に締め切りを設けますが、締切後も受付可能です。事務局までお気軽にお問い合わせください。

新たな学びと気づき、
出会いが満載の
プログラムです

お申し込み・お問い合わせはこちら

①下のQRコードからweb上でお申し込みいただくか、

②下表にご記入いただき、事務局(株)産直新聞社)まで
FAX・Eメールでお送りください。

方法1

右のQRコードを読み取って、
web上で必要事項を入力してご登録ください。



方法2

申込先：株式会社産直新聞社 宛

団体名	代表者名
電話番号	FAX番号
住所	メールアドレス

FAX

0265-96-0939

Eメール

info@j-sanchoku.net

主催 東信州次世代産業振興協議会 事務局 上田市商工課 企画受託者 株式会社産直新聞社

■お問い合わせ

企画受託者：産直新聞社 TEL:0265-96-0938 FAX:0265-96-0939 メール:info@j-sanchoku.net

※本事業は「長野県地域発元気づくり支援金」を活用し、「東信州次世代産業振興協議会」より株式会社産直新聞社が企画受託し運営しています。

農業の明日を考える 農商工連携による ニューアグリビジネス・チャレンジ塾



コンセプトは「農・商・工・官・学連携で農業の明日を考える」
「出会いと学び、気づき」が満載!

本事業では、全5回の座学と現地視察を通じて、多角的な視点から農業の可能性を探求します。新たなビジネスチャンス
を創出するための知識とネットワークを広げましょう!

キーワードは、6次産業化、有機栽培、道の駅を活用した地域づくり、EC販売・ふるさと納税、スマート農業。

これら、現在の農業や地域を考えるために必須のトレンドテーマについて実践的に学びを深めます。

本事業は「長野県地域発元気づくり支援金」活用事業です。

こんな方におすすめ!

- 新規事業として農業参入や農業関連領域への展開を検討している企業・個人
- 既存の農業経営を多角化・高付加価値化したい農業者
- 地域資源を活かした6次産業化に興味がある製造、ものづくり、観光関連の方
- 関係人口創出や地域づくりに貢献したい事業者
- 新しい技術やビジネスモデルを学び、農業の可能性を広げたい方

関心のある方は、どなたでもご参加いただけます。

農業関係者、IT、通信、製造、広告、金融、教育、広告、食品、観光、飲食…、さまざまな領域の事業者でつながり、アイデア
や知恵を出しながら新たな学びや事業を生み出しましょう!

実施スケジュール(予定)

各回にキーワードとして挙げたものは、農水省、経産省、厚労省などの施策とも関連する重要なテーマです。東信地域でどのような取り組みが可能なのか？各キーワードに沿って自治体、民間企業、住民で連携・共働して考えていきます。

第1回

キーワード #EC販売の可能性 #ふるさと納税と地域ブランド #デジタル化 #販路創出 #有機給食

8月19日(火) 13:30～15:30	キックオフミーティング&座学（上田市会場・オンライン） ・THE APP BASE 株式会社 代表取締役 佐藤駿氏	THE APP BASE	
8月26日(火) 13:00～16:00	現地視察（豊丘村・松川町） ・株式会社 豊かな丘 「道の駅 南信州とよおかマルシェ」 支配人 片桐明氏 ・松川町役場 産業観光課 農業振興係 係長 宮島公香氏、 松川中央小学校 栄養士 木下めぐ美氏	 道の駅 南信州 とよおかマルシェ	 松川町

- Point**
- 今や販路拡大やファンづくりに欠かせないECサイト。初回の座学では、数々のECサイト構築やWebを活用したビジネスづくりに携わってきた佐藤氏から、WEB制作の現状や、ECサイト運営・情報発信の基本について学びます。
 - 豊丘村のふるさと納税は、果物や野菜、畜産物、加工品などバラエティー豊かな返礼品が年間通して並び、その品質の高さから県内でも上位の納税額を誇っています。どの様にして順位を伸ばしてきたのか、ファンづくりの秘訣、ふるさと納税がこれからの地域づくりにどう活かせるかを考えます。
 - わずか数年で有機給食を実現した松川町。町では遊休農地の活用を目的に、学校給食への出荷を前提とした生産者の育成と仕組みづくりを進めてきました。生産者・給食関係者・町役場がどのように連携して実現させたのかを学びます。

第2回

キーワード #中山間荒廃農地防止 #自然栽培と村づくり #新商品開発 #6次産業化

9月9日(火) 13:30～15:30	座学（オンライン） ・kurabe CONTINENTAL DELICATESSEN オーナーシェフ 渡邊竜朗氏		
9月18日(木) 10:00～14:00	現地視察（伊那市） ・株式会社 Wakka Agri 取締役社長 細谷啓太氏 ・kurabe CONTINENTAL DELICATESSEN	 Wakka Agri	 kurabe

- Point**
- 限界集落の棚田で自然栽培による小麦を栽培する「Wakka Agri」と、伊那谷の素材を使用しフランス料理を提供する「kurabe」が手がける商品開発プロジェクトが注目を集めています。高付加価値な農産物の栽培と、どの様にして販路に繋がっていくか。地域の魅力の見つめ直しと、マーケットインの視点を学び、ご自身の事業展開のヒントを探ります。

第3回

キーワード #6次産業化のまちづくり #農業体験プログラム #第2のふるさと #関係人口創出

11月18日(火) 13:30～15:30	座学（オンライン） ・信州いづなりんご学校 飯綱町農村民泊事務局長 飯森則裕氏		
11月25日(火) 13:30～15:30	現地視察（飯綱町） ・飯綱町、飯綱町ふるさと振興公社 など	飯綱町	

- Point**
- 「日本一のりんごの町」として、直売・加工・体験型農業・農家レストランなどを連携させ、町ぐるみで面的な6次産業化を推進してきた飯綱町。中でも10年にわたる「信州いづなりんご学校」の活動は、首都圏を中心に多くのファンを生み、都市農村交流による関係人口づくりの成功例として注目されています。市町村主導による6次産業化の可能性について考えます。

第4回

キーワード #道の駅×農業振興×まちづくり #地域産業創出 #組織改革 #オーガニックビレッジ

12月16日(火) ～17日(水)	座学（移動中のバス内で実施） 現地視察（群馬県みなかみ町） 株式会社たくみの里「道の駅たくみの里」 代表取締役 西坂文秀氏	 道の駅 たくみの里
----------------------	---	------------------

- Point**
- 愛媛県で年商30億円の直売所「さいさいきてや」を育てた西坂氏。キラーコンテンツが無いと考えられていた群馬県みなかみ町で小さな6次産業化に挑戦。道の駅を拠点に「わらアート」による観光創出、耕作放棄地での山葡萄栽培やワイナリー設立、観光で生じた生ごみによる循環型農業など、多彩な展開をしています。地域資源の活用方法や、オーガニックを軸とした地域づくりの可能性を探ります。

第5回

キーワード #スマート農業 #人手不足解消 #デジタル化 #気候変動対策

1月20日(火)	クロージングミーティング&「スマート農業」展示会（上田市会場）
----------	--

- Point**
- 人口減少が進む中、ロボット技術やICTの活用などは避けては通れない技術です。スマート農業に関連する機械やサービスを提供する県内外の企業をお呼びし、直接見て聞いて試して、東信地域の農業の未来を考えます。

※オンラインによる事前の座学研修と、視察がセットになっています。視察は現地集合になります。第4回の県外視察のみ信州大学繊維学部（上田市）に集合し、バスで移動します。（バス代は事業予算でまかないます）
※必ずしも全回参加が必須条件ではありません。

本事業で目指すこと

3年間(予定)を通して学びと実践に繋げるプログラムとなります。もちろん単年度のみの参加も大歓迎です！

3年間のロードマップ

- ◆1年目(令和7年度):基礎知識と先進事例を学ぶ
- ◆2年目(令和8年度):各専門的な課題を掘り下げる
- ◆3年目(令和9年度):具体的なビジネスプランの策定

実践的な学び

先進事例について学ぶだけでなく、ご自身の地域の課題と解決策を専門家と共に考える座学、現場の「今」を感じる視察による、生きた知識とノウハウを習得。

多角的な視点

農業、商業、工業、行政、研究機関などと連携し、多様な視点からビジネスチャンスを探る。

出会いとネットワーク

異分野の参加者や講師、視察先との交流を通じて、新たな連携やビジネスパートナーを見つけることが可能。

